

今週のお祈り 聖霊降臨後第22主日(特定25)特禱

全能の神よ、み子イエス・キリストは、小さい者のために行うことはわたしのために行うことになる、と教えられました。すべての人の僕となり、わたしたちのために命を捨て、死なれたみ子のように、わたしたちにも隣り人の僕となる心をお与えください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 171

発行日
2023年
10月29日

<聖パウロ☆バザー>本日 10月29日(日)12:00~14:30 まで。日曜学校礼拝はいつも通り 9:30 からです。バザーではヨーヨー釣りや綿あめなど、楽しい催しがいっぱい(^_^) 楽しみに来てください!



今週の聖書 マタイによる福音書 22:34 ~ 46
34 フアリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。35 そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。36 「先生、律法の中で、どの戒めが最も重要でしょうか。」37 イエスは言われた。「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」38 これが最も重要な第一の戒めである。39 第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」40 この二つの戒めに、律法全体と預言者たちが、かかっているのだ。」41 フアリサイ派の人々が集まっていたとき、イエスはお尋ねになった。42 「あなたがたはメシアのことをどう思うか。誰の子だろうか。」彼らが、「ダビデの子です」と言うのと、43 イエスは言われた。「では、どうしてダビデが、霊を受けて、メシアを主と呼んでいる

聖書からのメッセージ

執事 高柳 章江

旧約聖書には613の戒め(律法)があるといわれています。毎日、律法を研究している律法学者はイエス様に「律法のなかでいちばん重要な戒めはなんですか?」と質問しました。イエス様は「神である主を愛すること、隣人を愛すること」という2つの戒めをあげました。この2つの戒めに共通するのは「愛すること」です。愛する、というのは「大好きになる」ということだけではありません。パウロは愛について「忍耐強く、情け深く、ねたまず、自慢せず、高ぶらない」と述べましたが、愛にはいろいろな中身が含まれています。ですから私たちはまず、「愛すること」を「大事にすること」と置き換えて考えることから始めましょう。神さまと、家族やお友だち、困っている人たち、できればあなたがあんまり好きじゃない人たち、みんなを大事にして毎日をすごせたらいいなと思います。

のか。44 『主は、私の主に言われた。』『私の右に座れ/私があなたの敵を/あなたの足の足台とするときまで。』45 このように、ダビデがメシアを主と呼んでいるのであれば、どうしてメシアがダビデの子なのか。』46 これには誰一人、言葉返すことができず、その日からは、もはや、あえて質問する者はなかった。